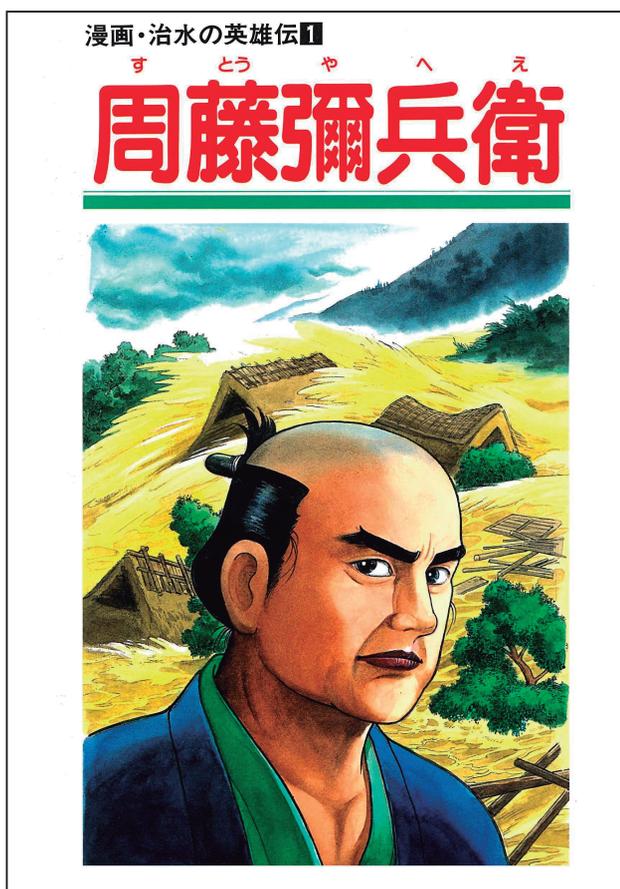


漫画・水の偉人『周藤彌兵衛』

第13回国際マンガサミット鳥取大会で販売

2012年11月7日（水）～11日（日）10：00～18：00

会場：米子コンベンションセンター（米子市末広町294）



山東省棗莊・台兒莊は米国から最新兵器を提供された国民党と中国共産党の国共合作の地で、山陰出身者が多くを占めた陸軍松江63連隊が全滅した場所。

2003年、この地で、周藤彌兵衛翁銅像は、孔子、孟子、清原太兵衛翁の像とともに製作された。

日吉村（現・松江市八雲町）を流れる意宇川は洪水を繰り返す暴れ川だった。

宝栄3年（1706年）、56歳にして一念発起した周藤彌兵衛は、岩山の剣山を切り抜き、川の流れを変える工事に取りかかった。

以来42年間、くる日もくる日も槌とノミで岩を切り開くという苦業に立ち向かい、ついに延享4年（1747年）、97歳にして「日吉切通し」を完成させ、意宇川の流れを変えることに成功した。

宝暦2年（1752年）、周藤彌兵衛は102歳で大往生をとげた。それから250年余りの年月が流れた今日、「日吉切通し」を流れ落ちる水音は絶えることなく、流域の人々に意宇川の恵みをもたらしている。